



祝 令和5年二十歳の式



御厨



志佐

令和5年松浦市二十歳の式が1月4日、文化会館で開催されました。

今年、市内の二十歳を迎えた人は、男性125人、女性108人の計233人。

式典では板谷^{あたる}陽さん（鷹島町）と、吉元 優奈さん（御厨町）が司会を務めました。

友田市長は、「昨年4月に民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられましたが、20歳という年齢は、これまで成長してきた過去を冷静に振り返り、一人の成人として未来を見据える大きな節目となる年齢であります。若い皆さんには沢山の時間があります。現実を常に前向きに受け止め、自分の人生を歩んで下さることを願っています。そして、次の時代の担い手として強い自覚と意思をもって松浦を、そして日本を支えてくださることを期待しています」と式辞を述べました。

新成人の代表者2人が「二十歳の抱負」を述べた後、富森 匠さん（今福町）が交通安全宣誓を行い、最後に松坂琉ノ介さん（星鹿町）が市長から記念品を受け取りました。



鷹島



星鹿



調川



今福



福島



※写真撮影時のみマスクを外しています



二十歳の抱負

※一部を抜粋して掲載



新成人代表
本山 夏帆さん (調川町)

私は現在、松浦を離れ、4月から福岡で美容業界に就職しました。

美容業界で働きたいと思ったとき、美容学校に進学させてくれた両親に感謝しています。

今度は自分が両親に恩返しができるようにしたいと思います。

社会にでて働き始め、多くの人々に出会いたくさんの刺激や影響を受けました。

社会人としての自覚と責任を持って行動し、今自分がやるべきこと、目指すことに向けて精進していきたいと思っています。

私は現在、看護師を目指し、沖縄の大学に進学しています。

松浦市で自然の豊かさと人の温かさに触れて育ち、地域に寄り添った看護を提供する看護師になることが私の目標となりました。

そしてより良い看護師を目指すため、地域の皆さんの健康を守るサークルに所属し、ある地域のリーダーとして、健康測定や相談会を行っています。

将来、少しでも多くの人々の健康を守るように邁進していきます。



新成人代表
百武 歩さん (志佐町)